

日本箱庭療法学会 日本ユング派分析家協会
合同震災対策ワーキンググループ 主催

震災とこころのケア

2012年10月8日(月・祝) 10:00~16:00 受付9:30

コラッセふくしま

参加費	第1部のみ	500円
	第1部+第2部	1000円

第1部 10:00~12:00 全体講演(会場:3階企画展示室)

講師 河合俊雄(京都大学こころの未来研究センター)

「震災のこころのケアと視点:大きな物語と小さな物語」

震災、殊に原発のような大きな問題があると、人々の関心はそれに向かうすべてをそれで説明しがちになる。しかし心理療法の特徴はそのような大きな物語を離れ、個々人の小さな物語を見いだしていくことにあるのではないかということ、多くの例に基づいて話したい。

第2部 13:00~16:00 分科会

分科会1: 講師 河合俊雄(京都大学こころの未来研究センター)

「派遣による心理療法」

危機介入・震災のケアをはじめとして、近年、心理療法は派遣として実施されることが増えている。これは元々の心理療法の理念からするとどのような変化があるのか、またどのようなところが基本で大切なのかを考えたい。検討する事例を募集する。

分科会2: 講師 岸良範(茨城大学大学院教育学研究科)

「攻撃的表現の意味と機能」

不快なこと・不都合なことに向き合うことはなかなか難しいことです。特に今回の震災、また「原発問題」に端を発する「想像を絶するような不安」状況に於いては、その不快なこと・不都合なことは、自我のコントロールの中には、とても入りきれものではないように思います。そのため、不安、恐怖に対する防衛機制が様々な形で普段の中に生活の中に入り込み、時には感情的な行き違いという形でいろいろな場面で顕れるように思います。その現れは特に「攻撃性」という形をとることが、多くのエピソードから知ることができるように思います。今回はこの攻撃性を中心にして、事例を見ていきたいと考えています。その攻撃的表現は単なるカタルシスだけではなく、クライアントの「全体性の回復」の契機となったり、自分自身の「再構築」の手がかりであったり、周りの世界との「新たな関係の再構築」の出発となる働きを持つこともあるように思います。このような点について、実際の事例の中で検討したいと思います。(事例を募集しますが、その内容は直接的に今回の震災関連にかかわっているかどうかは問いません。)

分科会3: 講師 田中康裕(京都大学大学院教育学研究科)

「イメージを用いた心理療法における基本的スタンス」

大災害後の被災者支援も含め、心理臨床においてその“基本”が重要であることに変わりはない。

この分科会では、箱庭、夢、描画等のイメージを用いた心理療法においてセラピストがもつべき基本的スタンスについて検討する。検討する事例を募集する。

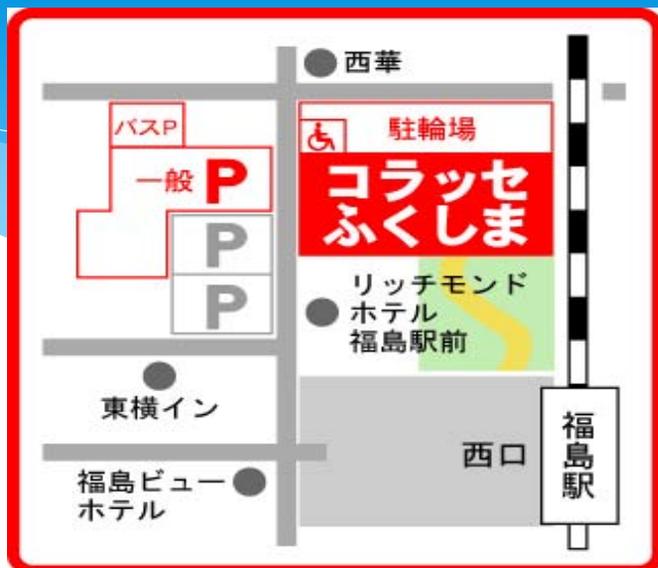
■参加方法: お名前、ご所属、職種、連絡先、参加形態(第1部のみor第1部+第2部)、第2部に参加される方は希望分科会を明記し、メールまたはFAXにて「10/8福島研修会参加希望」とお申し込みの上、会場にお越しください。
E-mail: sandajaj@educ.kyoto-u.ac.jp Fax: 075-753-9685

■事例募集: 分科会で事例発表を希望される方は、希望分科会を明記し、A4一枚程度の事例概要をメールまたはFAXにてお送りください。

■コラッセふくしまへのアクセスは裏面をご覧ください。 日本箱庭療法学会日本ユング派分析家協会合同震災対策WG事務局

■ アクセス コラッセふくしま (福島県福島市三河南町1番20号)

● 福島駅西口すぐ



<http://www.corasse.com/category/access>

● 日本箱庭療法学会

箱庭療法は、1965年に河合隼雄によりわが国に導入されました。箱庭療法は心理療法の一つであり、心理相談、法務臨床、精神科・小児科等の医療、さらに学校教育等、さまざまな領域における心理臨床活動に広く施行されています。本学会は、我が国唯一の箱庭療法学に関する学術団体として1987年7月に設立され、以来、箱庭療法学の基本的課題や原理に関して、面接事例およびその理論的考察等の発表を通して、会員の臨床活動および研究活動の相互発展を支援することを目的に活動を行っています。ますます社会的な要請に応じていかなければならない心理臨床活動において、本学会は「イメージ」に関わる学問的基礎に関わる研究をすすめると同時に、理論を学び、能力を高めていくための支援・相互交流の場として、心理臨床や箱庭療法に関する活動のための研究、研修、活動支援を広く行っています。

● 日本ユング派分析家協会(AJAJ)

日本ユング派分析家協会(以下、AJAJ)は、わが国で最初にユング派分析家資格を取得した河合隼雄教授を代表とする20名が設立発起人となり、2001年8月ロンドンで国際分析心理学会(IAAP: International Association for Analytical Psychology)への加盟が承認された、日本におけるユング派分析家の国際資格を有する者たちの協会です。2002年4月からは、AJAJの教育訓練機関である日本ユング心理学研究所において、ユング心理学の普及とユング派分析家の養成を目的とし、セミナーやグループ・スーパーヴィジョン、シンポジウム等の開催を東京と京都で行っています。また、本研究所では、上記のユング派分析家資格取得を目的とするだけでなく、幅広くこころのケアにかかわる人のための質の高い訓練の場であるべく、様々なプログラムを提供しています。

■ 支援活動のご紹介

日本箱庭療法学会と日本ユング派分析家協会では合同の震災対策ワーキンググループを立ち上げ、研修活動、スクールカウンセラーの派遣など、被災された方へのサポート・心理支援の取り組みを行っています。長期的に支援を行っていくにあたり、皆様からの支援金を受付けております。いただいた支援金の使途および行った支援活動については、ホームページ等を活用し、随時ご報告申し上げます。



以下の銀行口座にて随時ご支援を受け付けております。

【一口】5000円(一口から募金が可能です。)

三井住友銀行 京都支店(496) 普通 8776954

口座名:箱庭ユング震災対策ワーキンググループ

※誠に申し訳ありませんが、振り込み手数料は各自ご負担ください。